

## 第5回ワークショップの結果概要（案）

### 【提案について】

#### ■案作成の考え方（全体）

- 1か所に機能集約するのではなく特色を付けた拠点を分散して配置する方が、住民にとって使いやすく、来訪者にとっては回遊する魅力が生まれ、地域の活性化につながるのではないかと。
- 機能を1か所だけに集中させると地域による偏りができてしまうので、不平等感が出ない様に地区内でのバランスを考えて施設を配置してほしい。
- コストや利用率の数値を元に移転や廃止を前提として案を考えるのではなく、歴史的背景や地域資産としての価値、住民の思い入れ等のデータでは測れないものも汲み取って検討してほしい。
- 文化3施設を一体的に考えるのは良いが、今ある全ての収蔵品を移転後も展示、補完できるのかという疑問がある。文化も地域の重要な核の1つなので、その機能が縮小されることがない様にしたい。庭園があることも踏まえると今のまま施設を維持するのが良いのではないかと。
- 施設の移転を考える際には、面積が足りているかだけでなく、使い勝手を考えて何階に配置されるか、スムーズな動線が確保できるかという視点も踏まえてほしい。
- いずれの案でも公園機能が盛り込まれていないので、スポーツができるフィールドや遊具があり、レジャーの場として楽しめる総合公園を整備して、若い世代が住みやすい環境づくりをすることも考えてほしい。
- どんこカップやカモねぎまつりの会場や準備施設が現在の場所から移動になっても、それに合わせて会場を移転すれば問題ない。
- どんこカップやカモねぎまつりの運営は現状の施設を使って上手く回っており、会場の周知もされている。今の会場は地区の中心でもあるので、このまま継続して行えると良い。
- 文化3施設の移転先で収蔵品の管理、保管にかかる費用と現状の美術館の耐震工事をして維持する費用、体育館を移転する場合と維持する場合の費用など、コストを踏まえて慎重に検討したい。

#### ■A案

##### <期待>

- 湍東中学校と新設小学校に生活体験館などのコミュニティ活動拠点が集約され

ると、多世代での交流が生まれ、高齢者の生きがいにつながり子どもたちの教育にも良い効果がある。

#### 〈懸念〉

- 湯東出張所に樋口記念美術館を移転するというが、現在ある展示、収蔵品を全て収めることはできないのではないかと。移転に伴って収蔵品の管理、保管のための設備を整えるための費用もかかるだろう。
- 樋口記念美術館は湯東の文化の核であり歴史的な経緯がある場所なので、たとえ収蔵スペースや費用の問題がクリアできたとしても、今の場所で存続させるのが望ましい。
- 湯東中学校と新設小学校に提案されているすべての施設が収まるというが、そのイメージがわからない。各施設のための十分なスペースが割けないのではないかと。
- 湯東中学校と新設小学校の体育館を地域と共用化すると、スペースが足りなくなったり、子どもたちの部活動やスポーツ活動が制限されてしまうのではないかと。
- 湯東中学校と新設小学校に様々な機能が集約されると、駐車場が足りなくなるのではないかと。現時点でも十分ではないので、スペース確保のために何らかの対応が必要だ。
- 行政機能とは異なり、スポーツ機能は日常的に利用するものなので、湯東中学校と新設小学校に集約してしまうとアクセスしづらい地域の人が出てきてしまう。
- 学校に関係者以外の一般の方が入ってくると防犯面で不安である。
- 農村環境改善センターを湯東中学校と新設小学校に複合すると、農林水産省関連の施設が文部科学省の施設に入ることになり馴染まない。湯東出張所の方が適している。
- 湯東中学校と新設小学校に交流施設を併設すると、調理室が上階になるのでカモねぎまつりの際にスムーズな鍋の運搬ができるか心配だ。

#### 〈配慮事項・修正提案〉

- 小学校・中学校の活動に制約のないように空間などを十分確保する。
- 新設小学校とコミュニティ施設の入口や動線は分け、多世代で交流できる場では多くの人が行き届き、子どもたちに危険が及ばないような工夫が必要である。
- 文化3施設はゆう学館に集約し、地域外の人にも来場しやすくするようにする。
- 給食センターが複合化の対象になっていないが、小学校を整備するタイミングに合わせて学校に統合させれば、運搬などの点で効率化が期待できる。

#### ■ B案

#### 〈期待〉

- 文化3施設が湯東中学校と新設小学校に併設されるので、幼少期から文化財や美術品に触れる機会ができ、教育的な効果が期待できる。
- 交流施設より文化施設の方が一般来館者との接触が少なく、動線を分けることで学校のセキュリティの確保が容易にできるのではないか。
- 美術館が新たに建設される施設に移転されるので、A案やC案よりも収蔵品にとって良い環境を整えることができるのではないか。

#### 〈懸念〉

- 多世代交流の視点から考えると、子どもと高齢者の交流の機会の創出につながる施設配置ではないので、その点が弱いと思う。
- 美術館を湯東中学校と新設小学校に配置するには収蔵品の管理、保管のための設備を整えなくてはならず、運搬やコストの面で大変ではないか。十分なスペースが取れるかも気になる。
- 美術館が学校に併設されると、一般の人は入りにくくなりますます入場者が減ってしまうのではないか。入場者数が増えないと財政負担が増すだけになってしまう。
- 湯東出張所に交流施設を併設すると、調理室が上階になるのでカモねぎまつりの際にスムーズな鍋の運搬ができるか心配だ。

#### 〈配慮事項・修正提案〉

- 湯東出張所に計画されている生活体験館は、教育機関（小・中学校）と一緒にしてほしい。多世代交流も可能となり、子どもたちにとってもよい影響となる。
- 農村環境改善センターが出張所に配置されるのは、目的や機能から考えても馴染むので良い。出張所に入る機能は、生活上必要な本来の出張所機能と農村環境改善センターで良いのではないか。
- 給食センターを、小学校を整備するタイミングに合わせて小中学校へ統合させる。（A案と同様）
- 機能を集約するのであれば、今ある施設をただまとめるだけでなく、西蒲区役所を湯東地区へ移転したり中央省庁の分署を誘致することなどによって、行政機能を拡大、集積させて人が流入するようにしたい。行政機能を拡充することで、農業振興など地域活性化に結びつけていきたい。建物を集約することで空いた土地を有効活用すれば良いと思う。

## ■ C案

### 〈期待〉

- 西小学校跡地を行政が維持する点が評価できる。西小学校の体育館はまだ新しく

スポーツ拠点として活用できるので無駄がなくて良い。

- 出張所、中学校＋新設小学校、旧西小学校とそれぞれの特色を持った拠点が地域内分散してできることで、各拠点を核とした地域の活性化が期待できる。
- 旧西小学校にサルビアパークと連携したスポーツ機能や市民の交流機能を集約することで、スポーツと文化の両面で拠点となり、潟東地区全体の活性化につながるのではないか。
- 旧西小学校の家庭科室は1階にあり、これを利用すればカモねぎまつりの際には今までと同様にスムーズな鍋の運搬ができるので使い勝手がよい。

#### <懸念>

- 旧西小学校をスポーツの拠点にすると、サルビアパークに近接していることもありサッカーだけに偏ってしまうのではないかという懸念がある。
- スポーツ拠点として整備する旧西小学校に、農村環境改善センターや生活体験館などのコミュニティ機能まで集約してしまうと、まつりやイベントの間は体育館が使えないなどのスポーツ活動への支障が生じることが心配だ。スポーツとは馴染まないコミュニティ施設もある。
- 潟東出張所に樋口記念美術館を移転するというが、現在ある展示、収蔵品を全て収めることはできないのではないか。移転に伴って収蔵品の管理、保管のための設備を整えるための費用もかかるだろう。

#### <配慮事項・修正提案>

- 農村環境改善センターは出張所、生活体験館は新設小中学校に置き、スポーツ機能、教育・文化機能、行政機能と特色づけて分散させると良い。但し、美術館は現状の場所が一番だと思う。
- 西小学校跡地だけではなく、東小学校跡地にもスポーツ機能を分散することで、アクセス面で潟東地域内でのバランスを取ると共に、十分な容量を確保する。
- 現況では公民館で市民グループの活動が行われているが、西小学校跡地にそういった公民館機能も持たせると、さらに様々な世代が交流できる場になるのではないか。
- 西小学校跡地に宿泊施設やレストランなども整備し、来訪者がお金を落とす仕組み、収益を上げ運営できる仕組みを整える。潟東で人気のスイーツや地場野菜を使った食事を提供したり、農家レストランにするなど、潟東地域の特色を出せるレストランにできると良い。
- 給食センターを、小学校を整備するタイミングに合わせて小中学校へ統合させる。  
(A案と同様)
- 旧西小学校の施設の運営には指定管理者制度を使えば良いのではないか。コミュニティ協議会がこの施設を活動の場にできると良いと思うので、協議会が運営を

受けることも考えられる。

#### ■新規提案

- 旧小学校を中心にして各学区に特色を持った機能を集約し、「福祉・健康」「スポーツ・観光」「スポーツ・公園」の3つのエリアを形成する案

#### 【評価軸・評価方法について】

##### ■評価の考え方への意見・質問

- コストのことを度外視して議論をしているのではないかと感じている。もっとコストを加味した議論するべきではないか。
- コストはもちろん大切な視点だが、現段階では言いたいことを言っても良いのではないか。次回の比較評価の段階で、市民からの提案も含めた複数案を評価することになるのだろう。その際にコストのことも踏まえた議論ができれば良いと思う。
- ワークショップで新規の提案をしたが、その案を実現することによって課題解決の狙いにある「過度な財政負担」が生じるとは思わない。潟東地区では小学校の統廃合などによってどんどん不便になって負担を強いられているのだから、その分教育面の充実を期待しても良いのではないか。
- 「地域のまとまりや中心性を保つ」の評価指標として、徒歩圏内に集まる人数や年齢等の多様性と書かれているが、機能を集約することでかえって徒歩圏でのアクセスが低下することが懸念される。

##### ■新たな評価軸・方法の提案

- 水害や地震などの災害時における建物の耐久性、耐震性は十分か。
- 水害時に使える2階建て以上の避難スペースがどのくらい確保できるか。
- 収益を上げることができる施設であるか。
- 作業効率が良い動線の確保ができていないか。
- 地区内外からの集客に適した立地であるか。
- 防犯面で不安がなく、安全に運営できるか。
- 来訪者数に対して十分な駐車場台数が確保できているか。
- 歴史的背景、地域資産としての価値、住民の思い入れがどれくらい反映できているか。（評価表に入らない場合でも別枠で評価してほしい。）

**【その他】****■ 避難所機能**

- 避難所が遠くなることに不安や不便を感じている人も多いので、どの案になったとしても、旧東小学校、西小学校、南小学校が担ってきた避難所としての機能を存続できるようにしてほしい。
- 湯東中学校のあるエリアは土地が低く水害の避難所としては不向きではないか。より安全でインターチェンジからのアクセスも良い南小学校の避難所機能を存続させることは重要だと思う。
- 廃校後の学校を避難所としている事例が近隣にあるのだから、指定管理者制度を使うなどの運営の工夫をしてこの地区でも存続させたい。但し、それが制約条件になって跡地の売却、貸付に影響が出ることは心配だ。
- 小学校統廃合がされた4月以降の避難所の暫定的な変更などの情報が正式に住民に伝わっていないのは問題だ。

**■ 暫定利用期間の南小学校**

- 4月から3小学校が統廃合されるが、暫定利用する南小学校では、すでに運動場の所に仮校舎ができ、校庭使用などに支障が生じている。暫定利用期間にも支障なく運動などができるように配慮してほしい。

**■ 小学校跡地の利用について**

- 東小学校、西小学校跡地ではグラウンドのみ暫定的に使用可だと聞いた。しかし、4月1日からライフラインが止まってしまうと、ガスや電気は仕方ないとしても、水道が止まりトイレも顔を洗うこともできなくなってしまう。西小学校跡地では使用を続ける有志で水道代を賄って使用できるようにするそうだが、東小学校では使用できずに東公園のトイレを利用するらしい。公園から距離があるのでグラウンド利用は辛いのではないか。
- 東公園近隣の団地では、公園で遊ぶ子どもの声がうるさいとの苦情が多いと聞いている。東小学校跡地と東公園の用途を入れ替え、小学校跡地を公園にし、東公園には団地を整備してはどうか。人口増加にもつながるのではないか。

**■ 質問・情報提供**

- 4月1日にはライフラインも止まってしまう小学校跡地利用については、避難所機能の話も含めて早く検討したい。いつごろワークショップで議論ができるのか。